

異文化理解サロン「世界の教育制度 ～フランス、アメリカと台湾～」

「違いで驚き、びっくりする」社会より「違いを受け入れる・活かす」と言う社会への転換を目指し、世界の様々な国の文化、習慣、現状、課題等について話を聞き、異文化に対する偏見をなくし、身近に触れ合う機会を府民に提供します。

外国人住民を講師として招き、自国の文化、社会、習慣、話題等についての講演及び交流・質疑応答・意見交換を通して異文化への理解を高め、地域の多文化共生に関心を持ってもらい、推進します。

日時： 2014年4月19日（土） 14:00～15:30

内容： フランス、アメリカと台湾の教育制度の基本、学校生活、現状と課題について説明しました。ディスカッションでは小学校での宿題、台湾の小学校での漢字教育、アジアの国にある生徒の掃除義務に関する意見と感想、教育方法（物をさせるより子供が納得して自分で参加することを待つ方法）、留年の利点と欠点、フランスの大学におけるデモ、学校での外部の方による授業や講演、学校における環境教育などについて意見交換をしました。

講師： 木津川市の国際交流員 ブライアン・リー（アメリカ出身）
京都府国際センターの国際交流員 ボナミ・アリス（フランス出身）

会場： 京都府国際センター（京都駅ビル 9F）

対象： 海外の教育制度、国際交流に興味のある方

参加者： 19名

主催：（公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- * やはり違いを知ることは宝になると思いました。
- * グループディスカッションの時間が楽しく、有意義でした。
- * ディスカッションが発生してどんどん話題が広がり面白かったです。
- * すごく楽しかったです。老若男女問わず新鮮でした。
- * プレゼンも分かりやすく、ディスカッションも充実していたので良かったです。非常にためになりました。



講座の様子：

